

## 優秀賞

C1 チームは、分散システムの要求分析から設計、実装、検証を行うというテーマだけを与えられ、それ以外の対象システムの詳細や扱う手法・プロセスなどは、キックオフ後にグループディスカッションで決定していくという方針で演習を始めました。分散システム固有の難しさを意識しながら、トップエスイーの様々な講義で学んだ手法を使って、分析・設計・検証を行いました。限られた時間の中でしたが、グループの中での役割分担を適切に実施し、本年度の集大成となる演習を作り上げることができました。

また、基本的なテーマに加えて、グループ毎に自分たちが興味を持った要素を追加することも行い、C11 グループは講義で学んだモデル検査手法の適用と、実装したシステムにおける実性能とのギャップの分析を追加課題として取り組みました。この問題は、本質的に非常に難しい問題で、限られた時間の中では限定的な分析までしかできませんでしたが、ただ講義で学んだものを鵜呑みにするのではなく、疑問を持ち、実現場での適用の可能性や効果を自ら確認する姿勢は、学术界と産業界をつなぐトップエスイーの理念を体現した成果であると言えます。

以上を高く評価して優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一